

第4回 東北復興ツーリズム推進ネットワーク会議



2024年6月7日（金）

東北への教育旅行ご検討のお願い

～だからこそ、東北でまなぶ～

目次

- 1 東北では「今を生きる力」を育むことができます
- 2 東北には減災・防災学習が可能な震災伝承施設が多数あります
- 3 東北には多様な魅力があります
- 4 東北へは新幹線で早く快適に訪れることができます
- 5 東北では混雑が少ないため落ちついた環境で学ぶことができます
- 6 東北でのモデルコースや事前学習のご提案を承ります
- 7 東北へ方面変更される学校さまが増えています

2024年6月

東日本旅客鉄道株式会社

1 東北では「今を生きる力」を育むことができます

震災伝承施設から東日本大震災の教訓や災害への備えを学ぶことができるだけでなく、日本の原風景が残る自然や、多様な文化、歴史に触れる体験が可能で、探求学習との親和性もあります。ぜひ、教育旅行の行先として、東北をご検討ください。

減災・防災学習



南相馬震災学習(福島県)

自然・環境体験



松島(宮城県)

SDGs



仙北市農作業・農家生活体験(秋田県)

農村・漁村体験



鶴岡市温海地区自然体験(山形県)

歴史・文化体験



ねぶたの家 ワ・ラッセ(青森県)

BRT



BRT(岩手県・宮城県)

探求学習とは、生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動のこと。

2 東北には減災・防災学習が可能な震災伝承施設があります

震災の記憶を風化させないように、東日本大震災の教訓や災害への備えを学び、後世に伝えていくことが大切です。



☆3.11伝承ロード推進機構
HPこちらから

岩手県



たろう観光ホテル(岩手県)

宮城県



荒浜小学校(宮城県)

福島県



福島県環境創造センター(福島県)



田老地区震災学習(岩手県)



気仙沼震災ボランティア(宮城県)



震災語り部講和(福島県)

東北各地で震災伝承施設の整備が進んだことを契機に、地域の皆様と連携して東北における復興ツーリズムを推進しています。交流人口拡大を通じた被災地域の復興加速や地域活性化につなげていきます。

3 東北には多様な魅力があります

東北ならではの歴史や文化、広大な自然に接することができます。また、農林漁業体験など様々な地域の体験プログラムをご用意しています。

歴史・文化体験

自然・環境体験

農林・漁村体験

スノー体験



4 東北へは新幹線で早く快適に訪れることができます

東北には、東京から新幹線で3時間以内に到着できます。



新青森まで
新函館北斗から
57分

盛岡まで
新函館北斗から
107分

仙台まで
新函館北斗から
147分

(参考)
東京ー広島 227分
東京ー京都 127分

東北へは、他の新幹線と同様に、貸切の列車・車両を割引価格にてご利用いただくことができます。
※詳細は旅行会社へお問い合わせください。



東北各地への到着時間(参考値)
※2024年5月時点

新青森まで
東京から 178分
大宮から 154分

盛岡まで
東京から 130分
大宮から 106分

仙台まで
東京から 90分
大宮から 65分

5 東北では混雑が少ないため落ちついた環境で学ぶことができます

東北では落ち着いた環境での学びに加え、予算面でも充実したプログラムの提供ができます。

●観光地の混雑の様子

第21回観光立国推進閣僚会議資料より抜粋



京都市(京都府)

第21回観光立国推進閣僚会議資料より抜粋



鎌倉市(神奈川県)



鎌倉市(神奈川県)

6 東北でのモデルコースや事前学習のご提案も承ります

2023年度「東北まなび旅」HP閲覧第1位モデルコース

1日目	【仙台集合】→①東北福祉大学(学生が中心となり考案した、体験型の防災・減災教育メニュー等体験)→ ②東日本大震災遺構・伝承館	気仙沼温泉泊
2日目	③マルゴト陸前高田プログラム体験(復興ボランティア体験、命の尊さを学ぶ座禅体験、広田湾漁業体験等)→ ④東日本大震災津波伝承館→ ⑤震災学習列車(被災地の「今」を列車で移動しながら直接「見て」「聞いて」「感じる」)	花巻温泉泊
3日目	⑥中尊寺(岩手県が誇る世界文化遺産で歴史を学ぶ)→⑦平泉レストハウス→【平泉解散】	

※詳細は旅行会社や東北観光推進機構、地元関係団体にお問い合わせください。



☆「東北まなび旅」HP
こちらから



6 東北でのモデルコースや事前学習のご提案も承ります。

JR東日本おすすめBRT乗車コース

1日目	【仙台集合】→①防災体験施設「KIBOTCHA」→②旧野蒜駅視察→③みやぎ東日本大震災津波伝承館→④石巻市震災遺構門脇小学校	南三陸ホテル観洋泊
2日目	⑤震災語り部バス(町内一周)→⑥南三陸・海のビジターセンター(アクティブラーニング)→⑦南三陸311メモリアル(震災学習)→⑧南三陸さんさん商店街→⑨BRT乗車(*BRTは「気仙沼」発「奇跡の一般松」着)→⑩東日本大震災津波伝承館→【一ノ関解散】	

浜通り・宮城コース

1日目	【いわき集合】→①Jヴィレッジ視察→②浅野燃糸工場(双葉町の復興に向けてタオル工場を稼働)→③浪江町フィールドワーク→④双葉町産業交流センター(富岡町3.11を語る会との対話)→⑤震災遺構浪江町立請戸小学校、大平山霊園、道の駅なみえ	松島大観荘泊
2日目	⑥松島瑞巖寺→⑦旧野蒜駅視察→⑧JRフルーツパーク仙台あらはま→⑨仙台市震災遺構荒浜小学校→⑩仙台うみの杜水族館→【仙台解散】	



世界遺産 毛越寺(岩手県)



JRフルーツパーク仙台あらはま(宮城県)



仙台うみの杜水族館(宮城県)

7 東北へ方面変更される学校も増えています

受入数の増加に伴い、体験学習等の内容も評価をいただいています。

公立中学校学生の東北6県向け 修学旅行参加人数推移

出典: (公財)全国修学旅行研究協会「コロナ禍と修学旅行」

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
参加人数 (単位:名)	24,371	43,699	71,526	48,508
全国におけるシェア	2.4%	4.9%	7.1%	4.7%



東北のコンテンツは「震災・減災・防災」のイメージが強かったが、それ以外の農泊・自然体験など別分野の話が聞けて良かった。特に、農山・漁村体験は探求型学習の側面で訴求力があるので、自分でも調べてみたい。 ※修学旅行関係者の声より

2022年度人気コンテンツ ベスト5

【中学校】

【高校】

出典: (公財)日本修学旅行協会発行「教育旅行年報 データブック2023」 ※抽出調査によるもの

順位	県名	コンテンツ	順位	県名	コンテンツ
1	岩手県	中尊寺	1	宮城県	松島
2	宮城県	松島	2	岩手県	中尊寺
3	岩手県	狛鼻溪	3	宮城県	気仙沼市東日本震災遺構・伝承館
3	宮城県	仙台うみの杜水族館	3	宮城県	南三陸さんさん商店街
5	福島県	鶴ヶ城	5	宮城県	仙台うみの杜水族館

「震災・防災・減災学習」は国内で唯一だと思われ、豊富な自然を活かした体験コンテンツの内容も非常に魅力的だと思われ。 ※修学旅行関係者の声より

気仙沼の伝承館は気仙沼向洋高校が震災遺構となっており、高校生向けの注目施設である。 ※修学旅行関係者の声より

- ・他地域にはない歴史や文化を学ぶ良い機会になる。事前学習がしっかりとできると、より理解が深まる。
- ・風力発電をはじめとする次世代エネルギーや、モノづくりについて体験学習ができる。「学びの旅」として訪れる価値のあるところだ。
- ・東北地方でとくに人気のある農山漁村民泊は、宿泊費の高騰もあり、学校のニーズはこれからますます高くなると思う。 ※修学旅行関係者の声より